

三川っ子だより

旭市立三川小学校 児童数207名
No.14 平成30年3月1日(木)

☆ 学校教育目標 「自ら学び、心豊かでたくましく、ともに助け合う児童の育成」

☆ 子どもたちとめざすスローガン! 「よく学び、よく遊べ!そして、助け合う 三川っ子!」

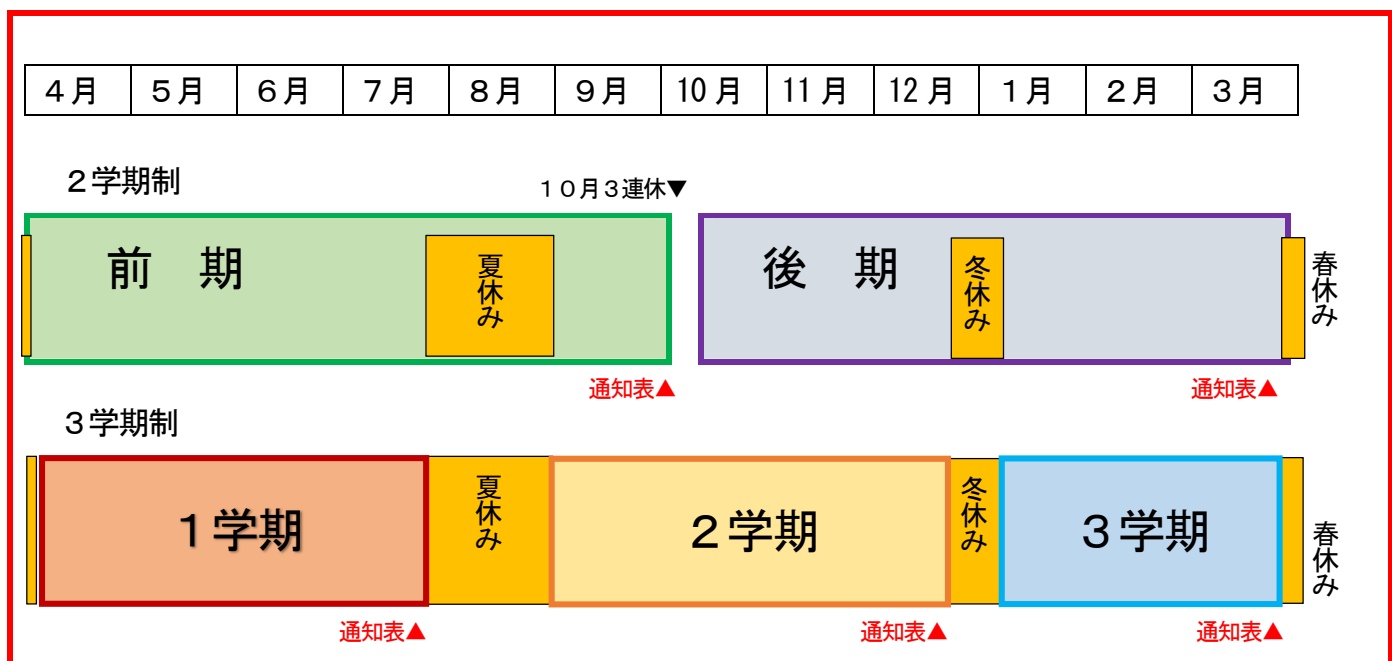
発行責任者 校長 櫻井良敬

2学期制への移行について ☆3

2学期制の特性を生かし 子どもたちとゆとりをもって学習と生活を送ります

1 2学期制とは何でしょうか?

- ◇ 2学期制とは、1年間を「前期」「後期」の2期に分けて実施するものです。
- ◇ 2学期制は、3学期制と年間の授業日数は同じです。
- ◇ 夏休み・冬休み・春休みの日数および時期も3学期制と同じです。



2 どうして2学期制への移行を考えているのでしょうか?

(1) 2020年度の新学習指導要領がねらう授業づくりのため

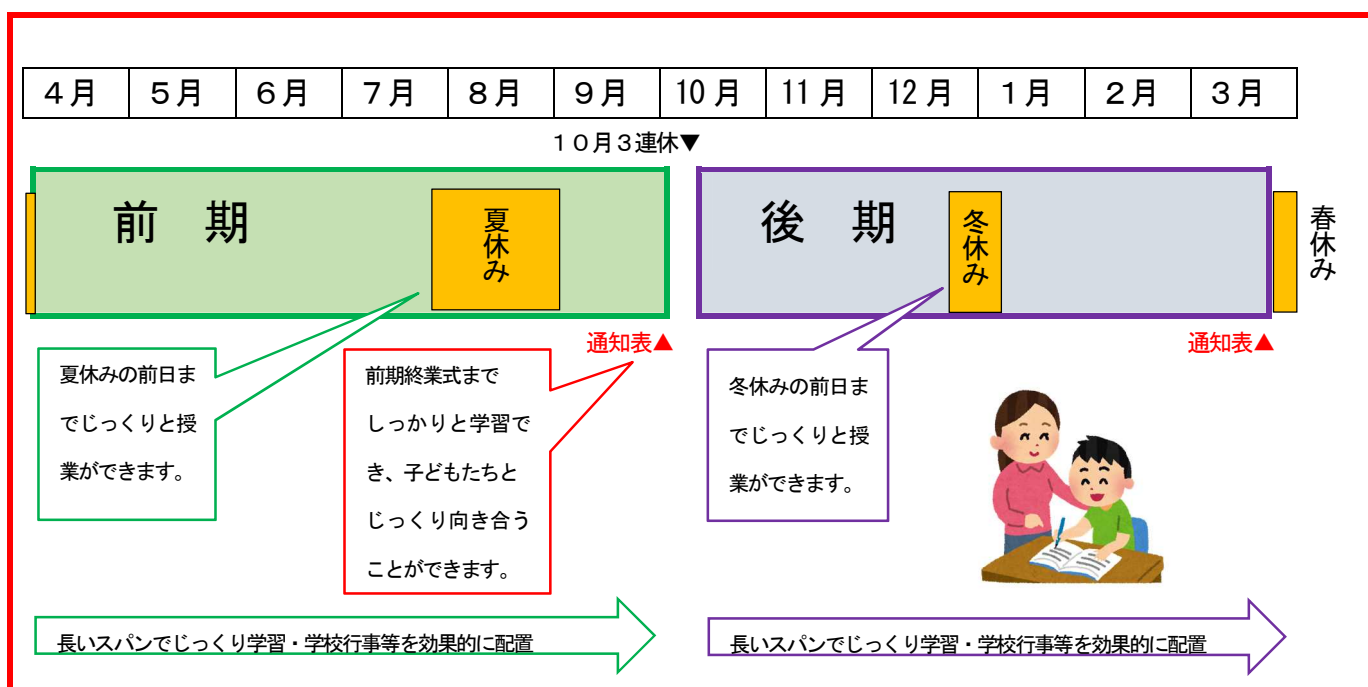
- ◇ 新学習指導要領がねらう授業づくり(主体的・対話的で深い学び)のため、子どもたちと向き合いじっくりと取り組む手間と時間が必要です。

(2) 子どもたちの豊かな心を育てる充実した行事等を行うため

- ◇ 自己肯定感や活力を育む「心の教育」の充実を目指す体験活動や児童会活動の時間の確保と実施ができます。

3 2学期制に変わるよい点は何ですか？

- (1) 授業時間の確保だけでなく授業時間の増加ができます。
- (2) 通知表が2回となりますが、あわただしい時期である7月・12月の学期末がなくなり、長期休業日直前までじっくりと授業が行えます。そのため、学習活動の時間の確保ができ、ゆとりをもって子どもたちとじっくり取り組む授業を行うことができます。
- (3) 1学期の通知表はありません。夏休みの最初に個別面談をもつことで1学期の学習課題を夏休み中に取り組めるようにします（12月の個別面談はありません）。
- (4) 担任が長期休業前に行っていた成績関係の事務作業を長期休業日中に行えるため、学習の定着の時間や子どもたちと向き合う時間が確保できます。
- (5) 通知表が年2回になることで、長いスパンで児童の変化を、じっくり、きめ細かく見ることができます。また、学校行事等を効果的に配置することができます。



4 子どもたちにとっていいことなのでしょうか？

- (1) 2学期制はなじみがありません。初めは慣れないかもしれませんが、子どもたちが困ったり、とまどったりすることはありません。
- (2) 通知表が2回に減りますが、学期のスパンが長いので、学習にじっくり取り組みます。
- (3) 長期休業はこれまで通りあります。授業時間の確保のため、土曜日課の増加や長期休業日を減らして授業日にかえることはありません。
- (4) 授業や活動に取り組む時間が増えます。取組の充実につながり、基礎的・基本的な技能の習得の時間の確保と主体的・対話的で深い学びを目指す授業が実施できます。
- (5) 自己肯定感や活力を育む「心の教育」の充実を目指す体験活動や児童会活動の時間の確保と実施ができます。
- (6) 長期休業前にじっくりと授業ができ、学習内容の定着や課題への取組の時間も生まれます。